



第2回 コミュニティ・スクールの 在り方を考える「熟議」

日時:平成23年2月18日(金)

13時00分～16時30分

場所:国立オリンピック記念青少年総合センター



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

ビデオメッセージ



鈴木 寛
(文部科学副大臣)

「熟議」を通じて議論を重ねコミュニティ・スクールの取組の推進や「全国コミュニティ・スクール連絡協議会」による関係者のネットワークの広がりへの期待などが述べられました。

鼎談



貝ノ瀬 滋

(三鷹市教育委員会教育長)

佐藤 晴雄

(日本大学文理学部教授)

前川 喜平

(文部科学省大臣官房総括審議官)

コミュニティ・スクールを進めるなかで課題となる点や、先進的な取組をご紹介していただきました。

文部科学省

前川 喜平 大臣官房総括審議官

鼎談



三鷹市教育委員会
貝ノ瀬 滋 教育長



日本大学文理学部
佐藤 晴雄 教授

グループ熟議(テーマ1)

- 学校運営協議会の実質化を図るための取組について熟議を行いました。

グループ
グループ



グループ熟議(テーマ2)



- 地域住民との協働・参画を増やすための取組について熟議を行いました。



グループ
グループ

グループ熟議(テーマ3)

- 幅広く継続的な支援の確保のための取組について熟議を行いました。

グループ
グループ



グループ熟議(テーマ4)



- 関係機関の連携拡充を図るための取組(行政部局間、企業・大学等)について熟議を行いました。



グループ
グループ

グループ熟議発表の様子



グループ熟議発表の様子



講評



玉川大学教職大学院
小松 郁夫 教授



熟議が今後、コミュニティ・スクールを進めていく上で極めて重要で有効な効果的方法とのご講評をいただきました。